

「日本語専攻」の選択理由と学習スタイルの好みについて*
- 韓国の4年制大学学部1・2年生の調査結果に基づいて -

金玄珠**・工藤恵利子***

〈 Abstract 〉

A Study on Students' Reasons for Choosing the Japanese Major and
Preferred Learning Styles :
Based on the Results of Research on the First and Second Year Students
at a Four-year University in South Korea

The purpose of this study is to examine (1) Japanese major students' specific reasons for choosing the Japanese language as their major and (2) learning styles that were preferred by learners majoring in the language, and investigate Japanese major students' needs, whereby promote the qualitative enhancement of Japanese language education. It conducted a survey that incorporated a four-stage criterion for the students' reasons for choosing this major (40 questions, Cronbach's α : 0.944) and preferred learning styles (30 questions, Cronbach's α : 0.753) on 45 first and second year students majoring in the Japanese language at Hanbat National University, which is a four-year national university. The completed surveys were then divided into "Atehamaranai (あてはまらない)" and "Atehamaru (あてはまる)" according to responses, and analyzed by using a chi-squared test in order to observe differences between the two responses in distribution. According to the results, the reasons for the students' selection of the Japanese language as their major included interest in Japanese and Japan and interest in the Japanese people's ways of thinking and life. The desire to understand the content of television dramas, animation, prose fiction, and magazines, traveling in Japan, or communicating with the Japanese people by learning Japanese were cited as well. A perception of Japanese as a tool for selecting an occupation and expressing oneself socially was also presented. As for learning styles, the students preferred solitary learning or individual guidance to pair or group learning. They also preferred teachers who were fluent in both Japanese and Korean.

Field : Japanese Education

Keywords : Japanese major, Korean learners, The reasons for choosing the Japanese major,
Preference learning style, Learner's needs

* 本研究はハンバツ大学校における2017年度校内学術研究助成を受けた(This research was supported by the research fund of Hanbat National University in 2017).

** ハンバツ大学校 助教授、日本語教育

***韓国放送通信大学校 客員教授、日本語教育

1. はじめに

教師が教える際に何よりもまず考えねばならないことは、学習者が何を求めているのかを把握することであろう。筆者らは韓国の大学で日本語を学ぶ学習者を対象に、学習者ニーズ調査の一環で日本語選択の理由を探求し続けているが、日本語関連専攻の学生のニーズに焦点を当てた研究の蓄積は未だ十分とは言えない。

最近、日本政府観光局によると訪日韓国人観光客の数が2016年500万人から2017年には700万人¹⁾に急増するほど、韓国人の日本旅行への需要が非常に高まっている。こういった中で韓国の若者は自然に日本語・日本文化に触れる機会が増えており、大学では「日本旅行をしてみたい」「日本で就労を考えてみたい」などといった学生の希望をよく聞くようになった。特に、日本語関連の学科では教育の質を向上させるために学生のニーズを知ることの重要性が求められるようになった。しかしながら、実際の教育現場では時間的な制約などで学習者ニーズの分析はさほど体系的に行われていない現状である。また、学習者がどのような学習スタイルを好むのかを把握することはコースデザインや教材選択、指導法にも関わってくるが、ニーズの分析同様詳細には行われていないのが現状である。

本研究は、韓国のハンバツ大専攻日本語科の1・2年生を対象に質問紙調査を行い、日本語を専攻として選んだ理由を知るとともに彼らが好む学習スタイルを明らかにすることを目的とする。さらに、そこから得られた知見をコースデザインに還元してゆきたい。

2. 先行研究と研究目的

外国語教育におけるニーズ分析の理論的背景とニーズ調査の方法については金(2016)に詳細な検討がなされており、学習者のニーズを分析することは教育の遂行過程全般にわたって大きな影響を及ぼす可能性があることが示されている。本研究は、学習者が言語学習に期待するものは何かといった学習ニーズに焦点を当てたものである²⁾。これは学習者が現在あるいは将来、どのような目的と状況で日本語を使うのかを予想し、実現可能な学習目標を決める上で非常に重要な情報となる(横山1995; 寺内2003; 金2016)。

学習者のニーズについての先行研究は、이명희・정희영(2005、高校生対象)、강영부(2008、日本語専攻学部生対象)、조대하(2008、中学生対象)、김종희(2008、日本語専攻学部生対象)、최은혁(2009、2年制大学日本語専攻学部生対象)等に韓国人学習者のデータを分析した結果が報告されている。また、日本語学習の理由については盧(2014、非専攻学部生対象)と방(2016、非専攻者対象)が研究の一部として扱っている。これらはすべて韓国の状況を反映したものではあるが、質問紙調査における尺度の信頼性と妥当性についての検討はなされていない。一方、金・工藤(2017)では日本語学習の理由を調べるために先行研究の問題点を踏まえ、信頼性と妥当性を確認した質問紙を開発した。開発にあたってはバルスコワ

1) 日本観光局によると2017年に観光を目的とし、日本を訪問した韓国人は前年の43.5%増の6,593,328人であった(https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/tourists_2017df.pdf)。

2) 言語学習に対して学習者のもつ考え方を主な研究対象とするピリーフ(belief)の研究(李善姬2008; 鈴木栄2012など)とは若干観点が異なることを断っておく。

(2006)における日本語選択の理由をたずねる40項目を綿密に検討してから、山崎・内田(2005)とLong(2005)を参考に韓国人大学生に適用できるような形に改良した。韓国における4年制大学の非専攻学習者228名の質問紙のデータを χ^2 検定により分析した結果、日本語や日本文化に興味・関心を持ち始めたこと、日本語をグローバル感覚を身に付けられる手段として捉えていること、過去の学習経験により日本語の学びやすさや日本語の楽しさを期待していること等が主な日本語の履修理由として示された。しかしながら、専攻学習者の傾向まで明らかにすることはできなかった。これまでに日本語関連専攻の選択理由と学習スタイルの好みについて体系的に研究された事例は管見の限りあまりない。

そこで本研究では、大学の日本語専攻学生に注目し日本語を専攻として選択した理由と学習スタイルの好みを明らかにすることにする³⁾。また、そこからコースデザインや教材作成等に役立つ示唆を得ることを目的とする。

3. 調査概要

調査では、ハンパツ大学校日本語科に在籍する1・2年生45名⁴⁾を対象に日本語を専攻として選択した理由(40設問)と学習スタイル(30設問)について質問紙調査を行った。

日本語を専攻として選択した理由を問う質問紙は金・工藤(2017)で使用されたものを参考に、専攻学習者に合うよう項目を改良し、使用した。項目の内容は、「1.日本語に興味関心があるから」「2.日本の文化に興味関心があるから」「3.日本のドラマや映画、アニメを字幕なしで見たいから」「4.日本の歌(J-POP)が好きだから」「5.日本の漫画が好きだから」「6.日本の歴史や伝統文化に興味関心があるから」「7.日本人のライフスタイルや生活習慣に興味関心があるから」「8.日本人の考え方や価値観に興味関心があるから」「9.日本のゲーム(コンピューターゲームを含む)に興味関心があるから」「10.日本の小説・雑誌・新聞が読みたいから」「11.日本の商品をインターネットにより海外個人輸入をしたいから」「12.日本語でSMSやSNS(ブログ、カカオトーク、フェイスブックなど)がしたいから」「13.日本の社会と経済に興味関心があるから」「14.日本語の活用度が高いと思うから」「15.中学・高校で学んだことがあり、学習しやすいと思うから」「16.学んだことはないが、学習しやすいと思うから」「17.他(英語、中国語など)の外国語の授業を避けるため」「18.教育課程上日本語を連続的に受講したいから」「19.日本語に興味はないが、教育課程上取らなければならないから」「20.日本旅行したいから」「21.日本に住んでみたいから」「22.日本でワーキング・ホリデーを利用して働きたいから」「23.韓国の日本企業もしくは韓国における日本関連の仕事に就きたいから」「24.日本で就職したいもしくは日本における日本関連の仕事に就きたいから」「25.6ヶ月前後の短期語学研修を希望しているから」「26.長期日本研修もしくは日本留学を希望しているから」「27.グローバル感覚を身に付けたいから」「28.日本人と日本語で話したいから」「29.JLPT、JPT、SJPTなどの日本語の資格が取りたいから」「30.日本に友達がいる、日本人の友達がいる(日本人の友達が作りたい)から」「31.日本に家族もしくは親戚がいるから」「32.日本でボランティア活動、宣教活動をしたいから」「33.日本語学習は楽しいと思うから」「34.自分の望む就職先に合った日本語を学習したいから」「35.自分の適性と関連があると思うから」「36.日本は

3) 今後専攻学習者と非専攻学習者の傾向について比較ができるよう、基本的には先行研究で使った質問紙を使うことにし、その一部を専攻学習者に合うように改良することにした。

4) 男性19名(内1名2年生)、女性26名(内1名2年生)で、平均年齢は19才である。

隣国だから」「37.日本語は韓国でビジネスをする上で必要だと思うから」「38.家族もしくは知人など周りの人が勧めたから」「39.大学卒業に必要だから」「40.日本語が上手になりたいから」の以上の項目からなる。評定法については、「どちらとも言えない」のような中間的意見・曖昧な回答をできるだけ排除するために「全然あてはまらない(1)、あまりあてはまらない(2)、ややあてはまる(3)、非常にあてはまる(4)」の4件法で判断を求めた。

学習スタイルの好みについては標準化された質問紙が見当たらなかったため、先行研究および韓国の現状を踏まえ、質問紙の開発を行うことにした。学習スタイルについてはカレイラ松崎(2008)を参考にし、専攻科目であることや韓国での日本語教育であることを鑑み、30項目で構成した。項目の内容は、「1.私はほかの学生とペアや3-4人ぐらいのグループで学習するのが好きだ」「2.私は一人で学習するのが好きだ」「3.私は先生が評価、進度をはじめ厳しく教科目を進めるのが好きだ」「4.私は教材をそのまま翻訳し、授業を進めるのが好きだ」「5.私は日本語の授業で指定された教科書がきちんとあるのが好きだ」「6.私は画像(PPTを含む)など視聴覚教材で授業をするのが好きだ」「7.私は先生が小テストをはじめテストを実施するのが好きだ」「8.私は先生に授業での説明を韓国語でしてもらうのが好きだ」「9.私は先生が韓国語を使用せずに日本語だけ使用するのが好きだ」「10.私は先生に私の日本語の間違いをすぐに指摘してもらうのが好きだ」「11.私はコンピューターやインターネットを使用して日本語を学習するのが好きだ」「12.私は先生が教室を回りながら1対1で指導してもらうのが好きだ」「13.私は韓-日、日-韓の翻訳練習をするのが好きだ」「14.私は日本語を聞くだけでなく、目で見ながら学習するのが好きだ」「15.私は作文など課題をお互い直しあう学習するのが好きだ」「16.私は先生が課題を出してくれたほうが好きだ」「17.私はほかの学生と日本語で会話をし学習するのが好きだ」「18.私は日本のドラマ、アニメーションなどを使用して学習するのが好きだ」「19.私は日本の音楽を使用して学習するのが好きだ」「20.私は授業で日本の小説や雑誌、新聞などを使用して学習するのが好きだ」「21.私はロールプレイを通して自分で考えて活動する学習が好きだ」「22.私は授業で日本語をネイティブと話す練習をするのが好きだ」「23.私は韓国語を理解できなくても日本語のネイティブの先生が授業をするのが好きだ」「24.私は日本語と韓国語に精通したネイティブの先生が授業をするのが好きだ」「25.私は日本語と韓国語に精通した韓国人の先生が授業をするのが好きだ」「26.私は担当の先生が日本語、韓国語に精通した人ならネイティブでも韓国人でも関係なく好きだ」「27.私は学習したことを練習したり似た形の問題を解くのが好きだ」「28.私は中間考査と期末考査の場合、試験の形はペーパーテストが好きだ」「29.私は中間考査と期末考査の場合、試験の形はオンラインテストが好きだ」「30.私は自分の話や自分の考えについて話すのが好きだ」の30項目で構成した。評定法については、日本語を専攻として選択した理由を問う質問紙同様「全然あてはまらない(1)、あまりあてはまらない(2)、ややあてはまる(3)、非常にあてはまる(4)」の4件法で判断を求めた。

日本語を専攻として選択した理由についての質問紙はすでに金・工藤(2017)でその信頼性⁵⁾が示されている。専攻学習者の学習スタイルを問う質問紙の開発に当たっても信頼性が確保できるよう心掛けた。カレイラ松崎(2008)を参考にし作成したが、質問紙における尺度の信頼性を検証するため、予備調査を20名に行い、信頼性を数値化する指標としてクロンバック(Cronbach)の α 係数を求めて評価した。20ケースの回答から計算されたクロンバックの α 係数は0.753で、基準値を満たす結果であった。

5) クロンバックの α 係数は0.944で統計的に高い信頼性が示されている。

4. 結果

4.1 日本語を専攻として選択した理由

日本語を専攻として選択した理由を問う質問に対して学習者がどのような考えを持っているのかを明確にすることを目的とし、実施した質問紙の4段階尺度形式を「あてはまらない」「あてはまる」の2段階に変換後、回答の比率に差があるかどうかを明らかにするため χ^2 検定を行った。その結果は以下のとおりである（付録図1）。

〈表1〉日本語を専攻として選択した理由に関する項目別 χ^2 検定の結果

項 目	2段階尺度に変換し集計した結果			2段階尺度数に対する χ^2 検定	
	あてはまらない (%)	あてはまる (%)	合計		漸近有意確率
1.日本語に興味関心があるから	4 (8.9)	41 (91.1)	45	30.422**	.000
2.日本の文化に興味関心があるから	5 (11.1)	40 (88.9)	45	27.222**	.000
3.日本のドラマや映画、アニメを字幕なしで見たいから	12 (27.3)	32 (72.7)	44	9.091**	.003
4.日本の歌（J-POP）が好きだから	18 (40.0)	27 (60.0)	45	1.800	.180
5.日本の漫画が好きだから	16 (35.6)	29 (64.4)	45	3.756	.053
6.日本の歴史や伝統文化に興味関心があるから	21 (46.7)	24 (53.3)	45	.200	.655
7.日本人のライフスタイルや生活習慣に興味関心があるから	14 (31.1)	31 (68.9)	45	6.422*	.011
8.日本人の考え方や価値観に興味関心があるから	13 (28.9)	32 (71.1)	45	8.022**	.005
9.日本のゲーム（コンピューターゲームを含む）に興味関心があるから	24 (53.3)	21 (46.7)	45	.200	.655
10.日本の小説・雑誌・新聞が読みたいから	11 (24.4)	34 (75.6)	45	11.756**	.001
11.日本の商品をインターネットにより海外個人輸入をしたいから	13 (29.5)	31 (70.5)	44	7.364**	.007
12.日本語でSMSやSNS（ブログ、カカオトーク、フェイスブックなど）がしたいから	19 (42.2)	26 (57.8)	45	1.089	.297
13.日本の社会と経済に興味関心があるから	20 (44.4)	25 (55.6)	45	.556	.456

14.日本語の活用度が高いと思うから	10 (22.2)	35 (77.8)	45	13.889**	.000
15.中学・高校で学んだことがあり、学習しやすいと思うから	14 (31.9)	30 (68.1)	44	5.818*	.016
16.学んだことはないが、学習しやすいと思うから	33 (73.3)	12 (26.7)	45	9.800**	.002
17.他(英語、中国語など)の外国語の授業を避けるため	30 (66.7)	15 (33.3)	45	5.000*	.025
18.教育課程上日本語を連続的に受講したいから	28 (63.6)	16 (36.4)	44	3.273	.070
19.日本語に興味はないが、教育課程上取らなければならないから	44 (97.8)	1 (2.2)	45	41.089**	.000
20.日本旅行したいから	3 (6.7)	42 (93.3)	45	33.800**	.000
21.日本に住んでみたいから	3 (6.8)	41 (93.2)	44	32.818**	.000
22.日本でワーキング・ホリデーを利用して働きたいから	10 (22.2)	35 (77.8)	45	13.889**	.000
23.韓国の日本企業もしくは韓国における日本関連の仕事に就きたいから	8 (17.8)	37 (82.2)	45	18.689**	.000
24.日本で就職したいもしくは日本における日本関連の仕事に就きたいから	11 (24.4)	34 (75.6)	45	11.756**	.001
25.6ヶ月前後の短期語学研修を希望しているから	14 (31.9)	30 (68.1)	44	5.819*	.016
26.長期日本研修もしくは日本留学を希望しているから	12 (26.7)	33 (73.3)	45	9.800**	.002
27.グローバル感覚を身に付けたいから	10 (22.7)	34 (77.3)	44	13.091**	.000
28.日本人と日本語で話したいから	4 (8.9)	41 (91.1)	45	30.422**	.000
29.JLPT、JPT、SJPTなどの日本語の資格が取りたいから	8 (17.8)	37 (82.2)	45	18.689**	.000
30.日本に友達がいる、日本人の友達がいる(日本人の友達を作りたい)から	36 (80.0)	9 (20.0)	45	16.200**	.000
31.日本に家族もしくは親戚がいるから	44 (97.8)	1 (2.2)	45	41.089**	.000
32.日本でボランティア活動、宣教活動をしたいから	36 (80.0)	9 (20.0)	45	16.200**	.000

33.日本語学習は楽しいと思うから	7 (15.6)	38 (84.4)	45	21.356**	.000
34.自分の望む就職先に合った日本語を学習したいから	11 (24.4)	34 (75.6)	45	11.756**	.001
35.自分の適性と関連があると思うから	12 (26.7)	33 (73.3)	45	9.800**	.002
36.日本は隣国だから	17 (37.8)	28 (62.2)	45	2.689	.101
37.日本語は韓国でビジネスをする上で必要だと思うから	19 (42.2)	26 (57.8)	45	1.089	.297
38.家族もしくは知人など周りの人が勧めたから	33 (73.3)	12 (26.7)	45	9.800**	.002
39.大学卒業に必要なだから	20 (44.4)	25 (55.6)	45	.556	.456
40.日本語が上手になりたいから	2 (4.4)	43 (95.6)	45	37.356**	.000

* <.05 ** <.01

その結果5%水準で「あてはまらない」が多かった項目は「16.学んだことはないが、学習しやすいと思うから」⁶⁾ ($x^2(1)=9.800$, $p<.01$) 「17.他(英語、中国語など)の外国語の授業を避けるため」 ($x^2(1)=5.000$, $p<.05$) 「19.日本語に興味はないが、教育課程上取らなければならないから」 ($x^2(1)=41.089$, $p<.01$) 「30.日本に友達がいる、日本人の友達がいる(日本人の友達が作りたい)から」 ($x^2(1)=16.200$, $p<.01$) 「31.日本に家族もしくは親戚がいるから」 ($x^2(1)=41.089$, $p<.01$) 「32.日本でボランティア活動、宣教活動をしたいから」 ($x^2(1)=16.200$, $p<.01$) 「38.家族もしくは知人など周りの人が勧めたから」 ($x^2(1)=9.800$, $p<.01$) の7項目であった。

一方「あてはまる」が多かった項目は「1.日本語に興味関心があるから」 ($x^2(1)=30.422$, $p<.01$) 「2.日本の文化に興味関心があるから」 ($x^2(1)=27.222$, $p<.01$) 「3.日本のドラマや映画、アニメを字幕なしで見たいから」 ($x^2(1)=9.091$, $p<.01$) 「7.日本人のライフスタイルや生活習慣に興味関心があるから」 ($x^2(1)=6.422$, $p<.05$) 「8.日本人の考え方や価値観に興味関心があるから」 ($x^2(1)=8.022$, $p<.01$) 「10.日本の小説・雑誌・新聞が読みたいから」 ($x^2(1)=11.756$, $p<.01$) 「11.日本の商品をインターネットにより海外個人輸入をしたいから」 ($x^2(1)=7.364$, $p<.01$) 「14.日本語の活用度が高いと思うから」 ($x^2(1)=13.889$, $p<.01$) 「15.中学・高校で学んだことがあり、学習しやすいと思うから」 (x^2

6) 「あてはまる」は12名になっているが、質問紙調査の際に実施した個人調査によれば中学、高校における日本語学習経験の有無については、中学のみ4名、中学と高校5名、高校のみ24名、無応答1名であり、実際学習経験が全くない者は6名で、残りの6名は個人調査シートに学習経験有りと答えてはいるものの非正規のプログラムなどで日本語・日本文化に触れるくらいのものであった可能性がある。質問紙と個人調査における学習経験の有無にずれが生じたのは、恐らく「学習」そのものについての学生の主観的考えの違いによるものと考えられ、今後調査に際し、より注意が必要と考える。

(1)=5.818, $p < .05$ 「20.日本旅行したいから」 ($x^2(1)=33.800$, $p < .01$) 「21.日本に住んでみたいから」 ($x^2(1)=32.818$, $p < .01$) 「22.日本でワーキング・ホリデーを利用して働きたいから」 ($x^2(1)=13.889$, $p < .01$) 「23.韓国の日本企業もしくは韓国における日本関連の仕事に就きたいから」 ($x^2(1)=18.689$, $p < .01$) 「24.日本で就職したいもしくは日本における日本関連の仕事に就きたいから」 ($x^2(1)=11.765$, $p < .01$) 「25.6ヶ月前後の短期語学研修を希望しているから」 ($x^2(1)=5.819$, $p < .05$) 「26.長期日本研修もしくは日本留学を希望しているから」 ($x^2(1)=9.800$, $p < .01$) 「27.グローバル感覚を身に付けたいから」 ($x^2(1)=13.091$, $p < .01$) 「28.日本人と日本語で話したいから」 ($x^2(1)=30.422$, $p < .01$) 「29.JLPT、JPT、SJPTなどの日本語の資格が取りたいから」 ($x^2(1)=18.689$, $p < .01$) 「33.日本語学習は楽しいと思うから」 ($x^2(1)=21.356$, $p < .01$) 「34.自分の望む就職先に合った日本語を学習したいから」 ($x^2(1)=11.756$, $p < .01$) 「35.自分の適性と関連があると思うから」 ($x^2(1)=9.800$, $p < .01$) 「40.日本語が上手になりたいから」 ($x^2(1)=37.356$, $p < .01$) の23項目であった。

4.2 専攻学習者が好む学習スタイル

学習者がどのような学習スタイルを好むのかを明確にすることを目的とし、実施した質問紙の4段階尺度形式を日本語を専攻として選択した理由を問う質問紙同様に「あてはまらない」「あてはまる」の2段階に変換後、回答の比率に差があるかどうかを明らかにするため x^2 検定を行った。その結果は以下のとおりである(付録図2)。

〈表2〉専攻学習者が好む学習スタイルに関する項目別 x^2 検定の結果

項 目	2段階尺度に変換し集計した結果			2段階尺度数に対する x^2 検定	
	あてはまらない (%)	あてはまる (%)	合計		漸近有意確率
1.私はほかの学生とペアや3-4人ぐらいのグループで学習するのが好きだ	22 (50.0)	22 (50.0)	44	.000	1.000
2.私は一人で学習するのが好きだ	15 (34.1)	29 (65.9)	44	4.455*	.035
3.私は先生が評価、進捗をはじめ厳しく教科目を進めるのが好きだ	19 (43.2)	25 (56.8)	44	.818	.366
4.私は教材をそのまま翻訳し、授業を進めるのが好きだ	12 (27.3)	32 (72.7)	44	9.091**	.003
5.私は日本語の授業で指定された教科書がきちんとあるのが好きだ	19 (43.2)	25 (56.8)	44	.818	.366
6.私は画像(PPTを含む)など視聴覚教材で授業をするのが好きだ	6 (13.6)	38 (86.4)	44	23.273**	.000

7.私は先生が小テストをはじめテストを実施するのが好きだ	11 (25.0)	33 (75.0)	44	11.000**	.001
8.私は先生に授業での説明を韓国語でしてもらうことが好きだ	6 (14.0)	37 (86.0)	43	22.349**	.000
9.私は先生が韓国語を使用せずに日本語だけ使用するのが好きだ	33 (75.0)	11 (25.0)	44	11.000**	.001
10.私は先生に私の日本語の間違いをすぐに指摘してもらうことが好きだ	5 (11.4)	39 (88.6)	44	26.273**	.000
11.私はコンピューターやインターネットを使用して日本語を学習するのが好きだ	15 (34.1)	29 (65.9)	44	4.455*	.035
12.私は先生が教室を回りながら1対1で指導してもらうことが好きだ	11 (25.0)	33 (75.0)	44	11.000**	.001
13.私は韓一日、日一韓の翻訳練習をするのが好きだ	4 (9.0)	40 (91.0)	44	29.455**	.000
14.私は日本語を聞くだけでなく、目で見ながら学習することが好きだ	2 (4.5)	42 (95.5)	44	36.364**	.000
15.私は作文など課題をお互い直しあう学習をするのが好きだ	11 (25.0)	33 (75.0)	44	11.000**	.001
16.私は先生が課題を出してくれたほうが好きだ	16 (36.4)	28 (63.6)	44	3.273	.070
17.私はほかの学生と日本語で会話をし学習するのが好きだ	9 (20.5)	35 (79.5)	44	15.364**	.000
18.私は日本のドラマ、アニメーションなどを使用して学習するのが好きだ	5 (11.4%)	39 (88.6%)	44	26.273**	.000
19.私は日本の音楽を使用して学習するのが好きだ	10 (22.7)	34 (77.3)	44	13.091**	.000
20.私は授業で日本の小説や雑誌、新聞などを使用して学習するのが好きだ	8 (18.2)	36 (81.8)	44	17.818**	.000
21.私はロールプレイを通して自分で考えて活動する学習が好きだ	22 (50)	22 (50)	44	.000	1.000
22.私は授業で日本語をネイティブと話す練習をするのが好きだ	5 (11.4)	39 (88.6)	44	26.273**	.000
23.私は韓国語を理解できなくても日本語のネイティブの先生が授業をするのが好きだ	8 (18.6)	35 (81.4)	43	16.953**	.000

24.私は日本語と韓国語に精通したネイティブの先生が授業をするのが好きだ	1 (2.3)	42 (97.7)	43	39.093**	.000
25.私は日本語と韓国語に精通した韓国人の先生が授業をするのが好きだ	2 (4.7)	41 (95.3)	43	35.372**	.000
26.私は担当の先生が日本語、韓国語に精通した人ならネイティブでも韓国人でも関係なく好きだ	4 (9.3)	39 (90.7)	43	28.488**	.000
27.私は学習したことを練習したり似た形の問題を解くのが好きだ	5 (11.6)	38 (88.4)	43	25.326**	.000
28.私は中間考査と期末考査の場合、試験の形はペーパーテストが好きだ	5 (11.6)	38 (88.4)	43	25.326**	.000
29.私は中間考査と期末考査の場合、試験の形はオンラインテストが好きだ	28 (65.1)	15 (34.9)	43	3.930*	.047
30.私は自分の話や自分の考えについて話すのが好きだ	13 (30.2)	30 (69.8)	43	6.721**	.010

* <.05 ** <.01

その結果5%水準で「あてはまらない」が多かった項目は「9.私は先生が韓国語を使用せずに日本語だけ使用するのが好きだ」($x^2(1)=11.000$, $p<.01$) 「29.私は中間考査と期末考査の場合、試験の形はオンラインテストが好きだ」($x^2(1)=3.930$, $p<.05$) の2項目であった。

一方、「あてはまる」が多かった項目は「2.私は一人で学習するのが好きだ」($x^2(1)=4.455$, $p<.05$) 「4.私は教材をそのまま翻訳し、授業を進めるのが好きだ」($x^2(1)=9.091$, $p<.01$) 「6.私は画像(PPTを含む)など視聴覚教材で授業をするのが好きだ」($x^2(1)=23.273$, $p<.01$) 「7.私は先生が小テストをはじめテストを実施するのが好きだ」($x^2(1)=11.000$, $p<.01$) 「8.私は先生に授業での説明を韓国語でしてもらうことが好きだ」($x^2(1)=22.349$, $p<.01$) 「10.私は先生に私の日本語の間違いをすぐに指摘してもらうことが好きだ」($x^2(1)=26.273$, $p<.01$) 「11.私はコンピューターやインターネットを使用して日本語を学習するのが好きだ」($x^2(1)=4.455$, $p<.05$) 「12.私は先生が教室を回りながら1対1で指導してもらうことが好きだ」($x^2(1)=11.000$, $p<.01$) 「13.私は韓一日、日一韓の翻訳練習をするのが好きだ」($x^2(1)=29.455$, $p<.01$) 「14.私は日本語を聞くだけでなく、目で見ながら学習することが好きだ」($x^2(1)=36.364$, $p<.01$) 「15.私は作文など課題をお互い直しあう学習をするのが好きだ」($x^2(1)=11.000$, $p<.01$) 「17.私はほかの学生と日本語で会話をし学習するのが好きだ」($x^2(1)=15.364$, $p<.01$) 「18.私は日本のドラマ、アニメーションなどを使用して学習するのが好きだ」($x^2(1)=26.273$, $p<.01$) 「19.私は日本の音楽を使用して学習するのが好きだ」($x^2(1)=13.091$, $p<.01$) 「20.私は授業で日本の小説や雑

誌、新聞などを使用して学習するのが好きだ」($x^2(1)=17.818$, $p<.01$) 「22.私は授業で日本語をネイティブと話す練習をするのが好きだ」($x^2(1)=26.273$, $p<.01$) 「23.私は韓国語を理解できなくても日本語のネイティブの先生が授業をするのが好きだ」($x^2(1)=16.953$, $p<.01$) 「24.私は日本語と韓国語に精通したネイティブの先生が授業をするのが好きだ」($x^2(1)=39.092$, $p<.01$) 「25.私は日本語と韓国語に精通した韓国人の先生が授業をするのが好きだ」($x^2(1)=35.372$, $p<.01$) 「26.私は担当の先生が日本語、韓国語に精通した人ならネイティブでも韓国人でも関係なく好きだ」($x^2(1)=28.488$, $p<.01$) 「27.私は学習したことを練習したり似た形の問題を解くのが好きだ」($x^2(1)=25.326$, $p<.01$) 「28.私は中間考査と期末考査の場合、試験の形はペーパーテストが好きだ」($x^2(1)=25.326$, $p<.01$) 「30.私は自分の話や自分の考えについて話すのが好きだ」($x^2(1)=6.721$, $p<.01$) の23項目であった。

5. 考察

5.1 日本語を専攻として選択した理由

日本語を専攻として選択した理由を質問紙を用いて問い、 x^2 検定で得られた結果から、「あてはまらない」が有意に多かった項目は7項目、「あてはまる」が有意に多かった項目は23項目であった。以上の結果を踏まえると、日本語を専攻として選択した理由を以下のように推測することができる。

「あてはまる」が有意に多かった項目を見てみると「1.日本語に興味関心があるから」「2.日本の文化に興味関心があるから」「7.日本人のライフスタイルや生活習慣に興味関心があるから」「8.日本人の考え方や価値観に興味関心があるから」「33.日本語学習は楽しいと思うから」「40.日本語が上手になりたいから」があり、ここから日本語を専攻として選択した理由として日本、日本語、日本人に関する興味関心が挙げられる。金・工藤(2017)によると教養日本語を選択した理由として「1.日本語に興味関心があるから」「2.日本の文化に興味関心があるから」「33.日本語学習は楽しいと思うから」「40.日本語が上手になりたいから」で「あてはまる」が有意に多かったことが示されており、それを鑑みると、日本や日本語に興味関心があるからというのは日本語学習者に共通する理由だと考えられる。だが、専攻の場合「7.日本人のライフスタイルや生活習慣に興味関心があるから」「8.日本人の考え方や価値観に興味関心があるから」でも「あてはまる」が有意に多かったことから、日本語や日本文化のみならず日本人の生活様式や考え方に興味・関心があることが日本語を専攻として選択した理由であることがわかる。

「3.日本のドラマや映画、アニメを字幕なしで見たいから」「10.日本の小説・雑誌・新聞が読みたいから」「11.日本の商品をインターネットにより海外個人輸入をしたいから」「20.日本旅行したいから」「21.日本に住んでみたいから」「28.日本人と日本語で話したいから」の6項目でも「あてはまる」が有意に多いことが認められた。以上の項目から、日本語を手段として使い、アニメーションを見る、旅行をする、日本人と話すなどの活動につなげたいと考えていることがわかる。特に「20.日本旅行したいから」「28.日本人と日本語で話したいから」の2項目では金・工藤(2017)の教養日本語を選択した理由でも「あてはまる」が有意に多かった項目であるが、「10.日本の小説・雑誌・新聞が読みたいから」「11.日本の商品をインターネットにより海外個人輸入をしたいから」の2項目は教養日本語を選択した理由では「あてはまらない」が有意に多かった項目であり、教養学習者よりも専攻学習者のほうが日本語を

学ぶにあたって、すでに「何をしたい」という明確な理由があるのだと言える。昨今インターネットの発達で日本のドラマ、アニメーションを時間の差なく接することが容易になってきた。旅行に関してもLCC (Low Cost Carrier)の登場により、多くの韓国人が日本を観光目的で訪れるようになった。それに伴い、日本に関する情報が多様な分野で発信され、またそれらの情報のなかで自分の関心分野を検索し、必要な情報が得やすくなったことで、「やってみたい」「行ってみたい」「見てみたい」などの欲求が生じ、日本語学習へつながったのではないかと考える。

「14.日本語の活用度が高いと思うから」「22.日本でワーキング・ホリデーを利用して働きたいから」「23.韓国の日本企業もしくは韓国における日本関連の仕事に就きたいから」「24.日本で就職したいもしくは日本における日本関連の仕事に就きたいから」「27.グローバル感覚を身に付けたいから」「29.JLPT、JPT、SJPTなどの日本語の資格が取りたいから」「34.自分の望む就職先に合った日本語を学習したいから」「35.自分の適性と関連があると思うから」の8項目でも「あてはまる」が有意に多かった。金・工藤(2017)が行った教養学習者の選択理由では「14.日本語の活用度が高いと思うから」「27.グローバル感覚を身に付けたいから」で同様に「あてはまる」は有意に多かったことが示されている。しかし、教養の場合は「22.日本でワーキング・ホリデーを利用して働きたいから」「23.韓国の日本企業もしくは韓国における日本関連の仕事に就きたいから」「24.日本で就職したいもしくは日本における日本関連の仕事に就きたいから」では「あてはまらない」が有意に多く、専攻とは異なる結果であった。専攻学習者の場合、将来の進路選択の際の必要性から、社会的道具として日本語を捉え、日本語を選択していることが考えられる。特に日本関連企業への就職を考える際には専門的な日本語や日本文化についての理解が必要になってくることから、専門的に学べる専攻日本語を選択したと言える。

以上をまとめると「16.学んだことはないが、学習しやすいと思うから」「17.他(英語、中国語など)の外国語の授業を避けるため」「19.日本語に興味はないが、教育課程上取らなければならないから」「38.家族もしくは知人など周りの人が勧めたから」の項目で「あてはまらない」が有意に多かったことから、専攻日本語を選択した理由としては自発的かつ具体的な理由があると考えられる。また、多様な理由が考えられ、日本・日本語・日本人への興味関心、日本語を手段として日本と接すること、進路選択に必要な社会的道具としての日本語取得の3つが専攻日本語を選択した理由として大きく挙げられる。

5.2 専攻学習者が好む学習スタイル

専攻日本語学習者が好む学習スタイルを質問紙を使用し問い、 χ^2 検定を行った。その結果、「あてはまらない」が有意に多かった項目は2項目、「あてはまる」が有意に多かった項目は23項目であった。結果から、以下のように専攻学習者が好む学習スタイルをまとめることができる。

「2.私は一人で学習するのが好きだ」「12.私は先生が教室を回りながら1対1で指導してもらいたいのが好きだ」の2項目で「あてはまる」が有意に多い結果であった。一方で「1.私はほかの学生とペアや3-4人ぐらいのグループで学習するのが好きだ」「21.私はロールプレイを通して自分で考えて活動する学習が好きだ」では有意差がみられなかった。以上を踏まえると専攻学習者は一人での学習や個別での指導を好むことが考えられる。だが、「17.私はほかの学生と日本語で会話をし学習するのが好きだ」「30.私は自分の話や自分の考えについて話すのが好きだ」では「あてはまる」が有意に多かったため、日本語でお互いの意見を言い合うことは好むが、タスクとしてグループ活動やロールプレイなどでの複数人での学習を好むとは言えないことがわかった。

「6.私は画像(PPTを含む)など視聴覚教材で授業をするのが好きだ」「11.私はコンピューターやイ

ンターネットを使用して日本語を学習するのが好きだ」「14.私は日本語を聞くだけでなく、目で見ながら学習することが好きだ」「18.私は日本のドラマ、アニメーションなどを使用して学習するのが好きだ」「19.私は日本の音楽を使用して学習するのが好きだ」「20.私は授業で日本の小説や雑誌、新聞などを使用して学習するのが好きだ」の6項目で「あてはまる」が有意に多かったが、これは専攻日本語を選択した理由とも関連しドラマやアニメーション、小説、雑誌を理解したいと考えている学習者が多いことが学習スタイルにも反映された結果であろう。豊富なコンテンツが自由に迅速に手に入れられるため、学習者が希望する分野の日本語や生きた日本語をこれらの手段を通して授業で学ぶことを好むのだろうと考えられる。加えて「5.私は日本語の授業で指定された教科書がきちんとあるのが好きだ」の項目では有意な差が見られなかったことから、教科書にこだわらない幅広いコンテンツが教材として求められていると言えるだろう。

「8.私は先生に授業での説明を韓国語でもらうことが好きだ」「22.私は授業で日本語をネイティブと話す練習をするのが好きだ」「23.私は韓国語を理解できなくても日本語のネイティブの先生が授業をするのが好きだ」「24.私は日本語と韓国語に精通したネイティブの先生が授業をするのが好きだ」

「25.私は日本語と韓国語に精通した韓国人の先生が授業をするのが好きだ」「26.私は担当の先生が日本語、韓国語に精通した人ならネイティブでも韓国人でも関係なく好きだ」の6項目で「あてはまる」が有意に多く、「9.私は先生が韓国語を使用せずに日本語だけ使用するのが好きだ」の項目では「あてはまらない」が有意に多かった。ここからわかることは専攻学習者は韓国語での説明を好むと同時にネイティブとの学習も好む傾向があることである。日本語に精通した韓国人教師の授業を好むこと、日本語と韓国語に精通したネイティブとの学習を好むことから韓国語での説明、もしくは韓国語と日本語を対照しながらの説明が必要であると考えている一方で、ネイティブとの日本語の学習も必要だと考えていることが推測できる。

「7.私は先生が小テストをはじめテストを実施するのが好きだ」「10.私は先生に私の日本語の間違いをすぐに指摘してもらうことが好きだ」「15.私は作文など課題をお互い直しあう学習をするのが好きだ」「27.私は学習したことを練習したり似た形の問題を解くのが好きだ」の4項目で「あてはまる」が有意に多かった。専攻の学習者が練習問題を解くことや小テストを通して日本語を学習することを好み、またフィードバックを好むことがわかる。前出の個人での学習を好むことや教師からの1対1の指導を好むこととも関連していると言え、授業、フィードバック、個人での反復練習、小テストという流れが学習者の中に存在し、その学習方法が有効的であると考えているのではないかと推測できる。それ以外にも「28.私は中間考査と期末考査の場合、試験の形はペーパーテストが好きだ」では「あてはまる」が有意に多く、「29.私は中間考査と期末考査の場合、試験の形はオンラインテストが好きだ」では「あてはまらない」が有意に多かった。オンラインで試験を行う高等教育機関も増えてきていることから、今後導入することを視野に入れて問うたわけだが、まだ学習者には馴染みの薄いこともあり、従来行われてきたペーパーテストを好むのは当然の結果だと言えよう。

以上、専攻学習者が好む学習スタイルをまとめると、個人での学習を好む、様々なコンテンツを使用した授業を好む、韓国語での説明を好む、ネイティブとの学習を好む、日本語に精通した韓国人教師の授業を好む、フィードバックを好む、反復練習や確認の小テストを好むと言える。

6. おわりに

本研究では教育の対象である学習者が何を求めているのかという視点に立って日本語専攻選択の理由と学習スタイルの好みについてそれぞれ質問紙調査を行い、その結果を報告した。専攻日本語を選択する理由に関する結果をまとめると次のようになる。

- (1) 日本語を専攻として選択する学習者は、日本語や日本に関する興味・関心のみならず日本人の考え方や生活様式への興味関心もその理由となっている
- (2) 日本語を専攻として選択する学習者は、ドラマやアニメーション、小説、雑誌などのコンテンツへの接触、旅行や日本人とのコミュニケーションなど日本語を学習することで行いたい具体的な展望をもっている
- (3) 日本語を専攻として選択する学習者は、日本語を職業選択、社会的自己実現のために必要な道具であると認識し、将来を意識して専攻日本語を選択している

専攻日本語を選択する学習者が何かしら日本に関する興味・関心を持っていることは当然だが、このように細部に渡る質問紙を用いることでさらにその理由を詳細に明らかにすることができた。近年のインターネットの普及や日本への観光旅行者の増加により日本という国についての情報選択が可能になり、より身近に日本を感じられるようになったことや、日本の就業外国人受け入れ拡大により、日本という国が将来の選択肢の一つとして存在していることが本研究の結果とも一致するところである。

次に専攻学習者が好む学習スタイルについてまとめると次のようになる。

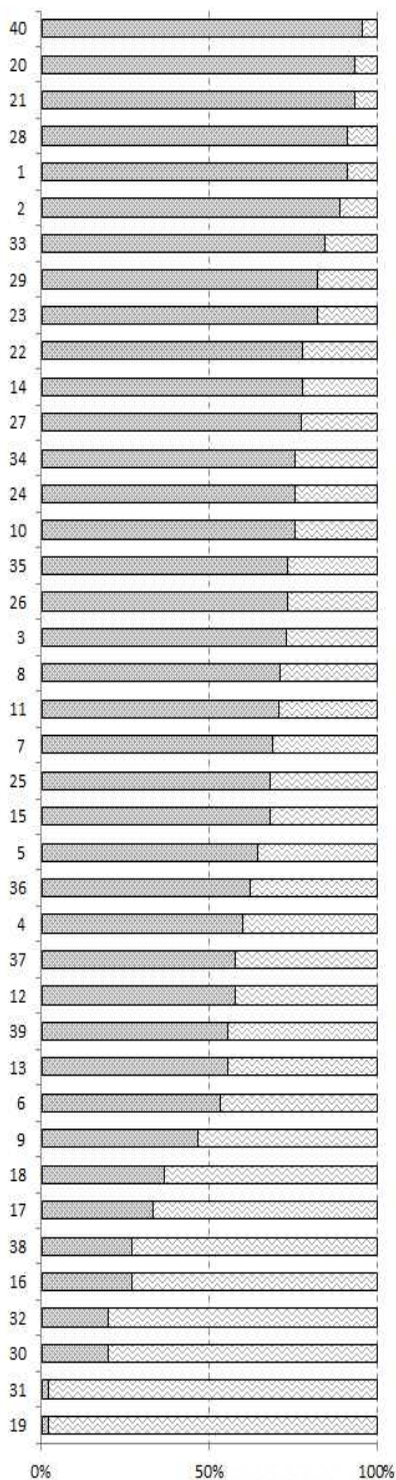
- (4) 専攻の学習者は個人での学習、個別での指導を好む
- (5) 専攻の学習者は教科書にこだわらず、幅広いコンテンツを使った学習を好む
- (6) 日本語の授業での説明を学習者の母語である韓国語で行うことを好むが、同時にネイティブとの日本語の学習も好む
- (7) 専攻の学習者はフィードバックを好み、定着を促す問題を繰り返して解くことや確認のための小テストも好む

日本語のみならず外国語科目の授業を行う際、ロールプレイやグループワークを取り入れる教師は多いと考えられる。だが、今回の研究により専攻の学習者は個人での学習を好むことがわかった。ここから、教師は学習者に対し授業で行われるロールプレイやグループ活動などの活動がどのような意図を持ち、効果があるのかを説明する必要があると言える。また、問題を解くことを好むこと、小テストを好むこと、韓国語の説明を好むことを鑑みると中等教育機関での外国語の一斉授業の経験が影響しているのではないかと推測できる。だが、一方でネイティブとの日本語の学習も好むのは単純にネイティブとの授業が楽しいものだと学習者が思っていることも考えられるが、日本人と話したい、日本語が上手になりたいなどの専攻日本語を選択した理由に挙げられた項目を実現させるためには、ネイティブとの学習が必要だと考えていることも可能性としてあげられる。

本研究により専攻の学習者がどのような理由で日本語を選択したのか、またどのような学習スタイルを好むのかより具体的に明らかになった。加えて、本研究は教師が学習者になぜ選択したのかその理由を問うこと、どのような学習スタイルを好むのかを探索することの重要性を問いかける役割を担っているといえる。教師の思い込みにより学習者の思いや希望が不在になってはならず、学習者に問い、時に学習者の思いとそぐわないのであれば説明をおこなう責任を教師は負わなければならない。「専攻日本語」で扱う日本語とはどのようなものなのか、学習者の自己実現のために必要な学習内容とは何か、

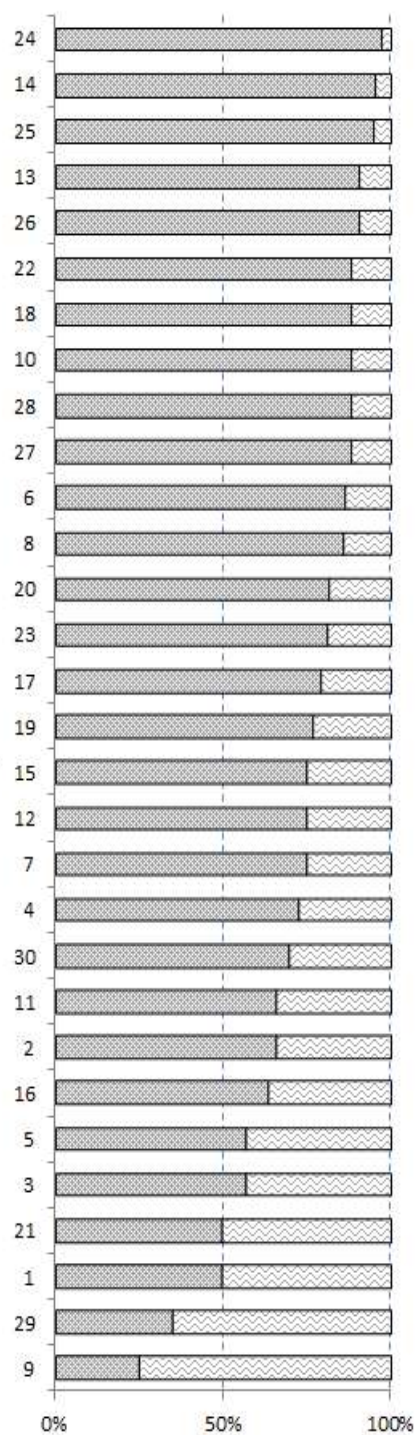
そのために必要な学習をどのように行えばよいのかを今一度考え、議論する必要があるだろう。以上の内容を議論し続けることが韓国国内の日本語教育の発展につながると確信している。また、本研究が専攻日本語のコースデザイン、プログラム構築、教材開発の一助になることを期待している。そのためにも、今後学習者の学習経験の有無による専攻日本語選択の理由の比較や分析方法の精査などを通し、より詳細な分析を行うことを今後の課題としたい。

【付録】



〈図1〉「日本語専攻」の選択理由

■あてはまる
 □あてはまらない



〈図2〉専攻学習者が好む学習スタイル

【参考文献】

- 김정수(2003) 「한일어 조사대조」 『일본어학연구』 6 한국일본어학회 pp.1-5
- 강영부(2008) 「4년제 대학에서의 한국인 일본어 학습자에 대한 니즈분석」 『일본어교육연구』 15 한국일어교육학회 pp.17-32
- 김종희(2010) 「학부과정 한일통번역 수업설계에 관한 연구」 부산외국어대학교 박사학위논문, 부산외국어대학교
- 방극철(2016) 「한국 대학 교양 일본어 교육의 질 관리 방안 연구」 『일본어문학』 71 한국일본어학회 pp.49-69
- 이명희·정희영(2005) 「일본어 수업 설계를 위한 학습자 필요분석에 대한 연구」 『일어일문학』 25 대한일어일문학회 pp.43-62
- 조대하(2008) 「韓國 中學校 日本語 學習者の 니즈(needs)分析」 『일본어교육연구』 15 한국일어교육학회 pp.33-52
- 최은혁(2009) 「한국의 2년제 대학의 일본어 학습자의 니즈조사를 통한 일본어교육」 『일본어교육연구』 16 한국일어교육학회 pp.1-20
- 李善姬(2008) 「韓國人學習者の日本語學習ビリーフ」 『日本語文学』 36 pp.129-144
- カレイラ松崎順子 (2008) 「English for Specific Purposes (ESP)を取り入れた英語カリキュラム開発のための学生に対するニーズ調査—保育専攻と心理専攻の類似点および相違点—」 『東京未来大学研究紀要』 1 pp.77-87
- 金玄珠(2016) 「ニーズ分析の理論、道具、研究の動向—韓國の大学における日本語學習者のための萌芽的研究—」 『日本研究』 40 pp.221-243
- 金玄珠·工藤恵利子(2017) 「教養日本語」の履修理由についての一考察—韓國の4年制大学の非専攻學習者を中心に— 『日本語教育研究』 40 pp.27-43 韓國日語教育学会
- 鈴木栄(2012) 「言語學習におけるモチベーションと學習者のビリーフ—教育への示唆—」 『白鷗大学論集』 27(1) pp.333-351
- 寺内一(2003) 「ニーズ分析(needs analysis)」 『応用言語学辞典』 研究社
- 仁田義雄(1989) 「文の構造」 『講座日本語と日本語教育 4 日本語の文法・文体 (上)』 明治書院
- 盧姪鉉(2014) 「受講動機が授業満足度に及ぼす影響—大学の「教養日本語」の受講生を対象にした調査結果に基づいて—」 『日本語學研究』 39 pp.71-82
- アンナ・バルスコワ(2006) 「ロシア人大学生の日本語學習の動機づけについて」 『新潟大学国際センター紀要』 pp.144-151
- 山崎勝之·内田香奈子(2005) 「調査研究における質問紙の作成過程と適用上の諸問題」 『鳴門教育大学研究紀要』 (教育科学編) 20 pp.1-10
- 横山杉子(1995) 「3. ニーズ分析」 『概説日本語教育』 遠藤織枝編 三修社
- Long, M. H.(Ed.)(2005) *Second Language Needs Analysis*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Rakoff,L.(1973) *Language and Women's Place. Language in Society*, NY: Harper Colophone Books, pp.1-5

〈 요 지 〉

**일본어전공을 선택한 이유와 선호하는 학습 스타일에 대하여
- 한국의 4년제 대학 1·2학년 학생에 대한 조사결과를 토대로 -**

본 연구의 목적은 1)일본어를 전공으로 선택한 이유가 구체적으로 무엇인가, 2)전공학습자가 선호하는 학습스타일은 어떠한 것인가에 대하여 살펴보고 일본어 전공 학생의 니즈를 파악하여 일본어 교육의 질적 제고를 도모하는 것이다. 본고에서는 4년제 국립대학인 한밭대학교 일본어 전공 1·2학년생 45명을 대상으로 전공 선택의 이유(40문항, 크론바하의 α 계수: 0.944) 및 선호하는 학습스타일(30문항, 크론바하의 α 계수: 0.753)에 대하여 4단계 척도를 도입한 설문조사를 실시한 후 「*아てはまらない*」와 「*아てはまる*」로 나누어 분포 간에 차이가 있는지를 카이제곱 검정에 의해 분석하였다. 그 결과 전공 선택의 이유로는 일본어와 일본에 대한 흥미·관심 및 일본인의 사고나 생활양식에 대한 흥미·관심을 들 수 있으며, 일본어를 학습하여 드라마, 애니메이션, 소설, 잡지 등과 같은 콘텐츠를 접하거나 일본 여행, 일본인과의 커뮤니케이션을 해보고 싶다는 의지도 들 수 있다. 일본어를 직업 선택 및 사회적 자기표현을 위한 도구로 인식한 점도 이유로 제시되었다. 학습스타일에 있어서는 페어나 그룹학습의 형태보다 개별 학습 및 개별 지도의 형태를 선호하며, 일본어에 정통한 한국인 교수 혹은 한국어로 설명이 가능한 원어민 교수를 선호하는 것을 알 수 있었다. 원어민 교수와의 소통을 통하여 일본인과 이야기할 기회를 얻고자 하는 의지를 읽을 수 있었다.

논문분야 : 일본어교육

키워드 : 전공 일본어, 한국인 학습자, 전공 선택의 이유, 선호하는 학습 스타일, 학습자 니즈

■ 김현주(金玄珠)

한밭대학교 조교수

khj15@hanbat.ac.kr

■ 구도에리코(工藤恵利子)

한국방송통신대학교 객원교수

phoo4587@knou.ac.kr

- 投稿日 : 2019년 4월 2일
- 審査開始 : 2019년 4월 13일
- 審査完了 : 2019년 5월 10일
- 掲載確定 : 2019년 5월 10일